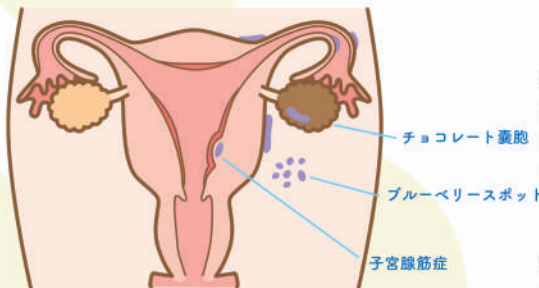


子宮内膜症

Endometriosis

子宮内膜症とは子宮内膜が子宮以外の場所で発育・増殖する病気。
 月経時には本来の子宮内膜と同じようにホルモンの影響を受けて、
 異所で子宮内膜が増殖・出血し、炎症を引き起こす。
 月経困難症の原因となっていることもあり、日常生活に支障を
 きたしている女性も多い。
 このような症状は、月経の時のみならず1週間ほど前から起こる
 場合もある。月経の回数を追うごとに悪化することが多い。



子宮内膜症の病態

原因は、詳しくは不明。
 * 月経時に卵管を通して、卵巣などの方に付着
 * 腹膜などの細胞が、子宮内膜に変性する
 * 帝王切開で剥離した子宮内膜が腹膜に付着
 …と諸説あり。

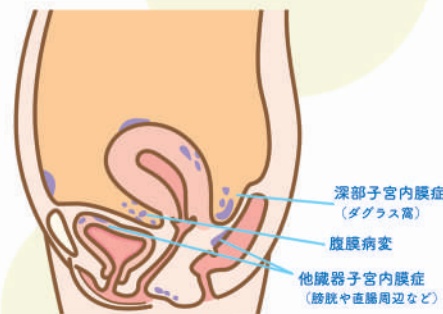
異所で増殖した子宮内膜は、放置すると月経の度に炎症を繰り返し、腹膜癒着を起こすこともある。

病巣が卵巣になると、古い経血がどんどん溜まりチョコレートのようなになるのでチョコレート嚢胞と呼ばれる。チョコレート嚢胞では、時に破裂して急性腹痛を起こし発見される。

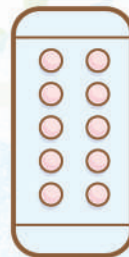
また、自然排卵が起こりにくくなり、不妊の原因となる。

さらに、チョコレート嚢胞を罹患している女性は、卵巣癌を発症する可能性が高いとされている。

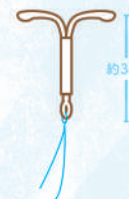
月経のある女性の10%が、子宮内膜症を患っていると言われており、多くが閉経まで続く。



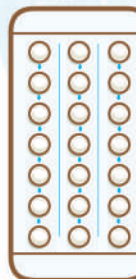
子宮内膜症の治療



鎮痛薬(NSAIDs)
 ロキソニンなど。
 症状が数日の痛みだけの場合。
 吐き気がある場合は、坐薬も有用。



IUS(Intrauterine system)
 ミレナで馴染みがある、子宮内避妊システム。リングとも呼ばれる。
 黄体ホルモンを付着させてあり、子宮内に挿入するだけで子宮内膜症の症状を抑えることができる。5年間有効で、抜去すればすぐに妊娠も望める。子宮内膜症なら保険適応で、自己負担はおよそ2万円まで。
 医師による処置が必要で、経膣分娩未経験や性交未経験の方には抵抗があるかも。



低容量ピル(低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬)
 ルナベルなど。
 排卵を抑制し、子宮内膜症の進行を緩やかにできる。
 避妊効果があるので、すぐに妊娠を望む人やうっかり飲み忘れてしまう人には不向き。
 内服をやめれば、すぐに妊娠を望むことができる。
 ホルモン療法では、他にも女性ホルモンの分泌を抑制して、卵巣機能や子宮内膜増殖を抑えるGnRHアゴニスト(点鼻・皮下注射)、ジネゴスト(内服)、ダナゾール(内服)などがあり、使用期間や服用方法が様々。ライフスタイルや他の持病などを考慮して選ぶことができる。

根治療法
 手術で卵巣や子宮を除去する

子宮内膜症は、辛い症状をガマンし続けなくてもいい病気です。うまくコントロールしていきましょう



抑うつ傾向

月経困難症 あるある

吐き気
排便通

頭痛

不妊

性交時
膣の奥の痛み

経血が
多い

強い
下腹部痛
腰痛